

さくらすの木 8月

桜川市生涯学習センター・桜川市立図書館通信 vol. 15 2026年8月11日発行

さくらすトピックス

第2回 読書会「推したいライトノベル」開催!!

7/5 (日) さくらす1階クリエイティブハブにて、第2回読書会が開催された。読書会とは、自分の好きな作品について語り合う、どなたでも参加可能なゆったりとしたイベントだ。

今回のテーマは「推したいライトノベル」。数あるライトノベルの中から、それぞれが厳選したものが持ち寄られ、「わかる!」「こういう作品もあるのか」といった最新作まで幅広く集まった回となった。参加者は、自らが持ち寄った作品の魅力や「推せる」ポイントを熱く語りあい、「ぜひ読んでほしい」という強い思いが伝わる紹介が続いた。

聞き手として参加された方の中には、ライトノベルはあまり詳しくないという方もいたが、「自分が普段読まないジャンルのことを知れてよかった」との声があった。



次回は9/26 (土)

『この夏の星を見る』(辻村深月/著 KADOKAWA)を課題本とする読書会だ。さくらす主催の読書会で課題本が選定されるのは初の試みだ。この作品を読んだことの有無にかかわらず、少しでも興味がある方は、ぜひ参加してほしい。「興味はあるけど話すのは……」という方は、聞き手としても参加できる。ひとりでの読書体験とはまた違ったものが得られることだろう。

次回の課題本
『この夏の星を見る』
辻村深月/著
KADOKAWA



「ビブリオバトル」講座開講!

さくらす主催講座として「ビブリオバトル」が開講した。和気あいあいとした雰囲気の中で、ビブリオバトルの基礎からしっかりと学ぶことができる。

6/20 (土) に行われた初回では、概要の説明及びミニ・ビブリオバトルでの力試しが行われ、7/18 (土) の第2回では、発表内容の組み立て方を学んだ。

残るは、8/22 (土)・9/19 (土)・10/17 (土)・11/21 (土) の4回。全日14:00~16:00での開講となる。それぞれ1回のみの受講と全回受講のコースを選ぶことができる。少しでも興味がある方は、1階総合案内窓口に声をかけてほしい。



◀講座の様子

イベントの様子



さくらすスタッフの偏愛読書案内

笑点60周年に落語のアニメ。今、落語がアツイ! そんな中、私の推しは春風亭一之輔匠! 「落語ってなんだか難しそう…」と思ったら、まずは一之輔師匠の日々のつづやきに耳を傾けてみませんか? ちなみに、電車の中などの人前で読んでみると、笑いをこらえるのに必死になってしまうので、ひとりでもこっそり読むのをオススメします。

春風亭一之輔に恋して!

伝統芸能のすゝめ(担当:おに子)



「まくら」とは、落語で本編が始まる前の導入部分で話す「つかみ」のようなもの。本編の説明だったり、世間話だったりと言の内容は落語家さんそれぞれ。この本は一之輔師匠のゆる〜い日常を、まくらのように語った1冊です。お題に対して、「なるほど」と思うものから「そのお題でこの話に持ってこ!!」と思うものまで。笑点ではちょっとニヒル、たまに寂しいお父さんを演じる一之輔師匠の本質(言い過ぎたかな)に迫る内容です。

まくらが来りて笛を吹く
春風亭一之輔/著
朝日新聞出版/朝日文庫 779.1/31

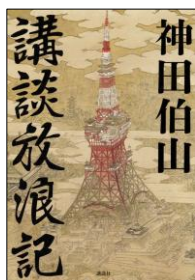


まくらの森の満開の下
春風亭一之輔/著
朝日新聞出版 779.1/31

こちらは「まくらが来りて〜」と同じく、新聞で連載されていたエッセイをまとめた第3弾。ちなみに第4弾のタイトルは『ドグラ・まくら』。次作のタイトルも気になります。今作はさらにオリンピックやコロナなど時事ネタ盛りだくさん!

読み進めていくうちに、「これはノッてるな」とか「これはがんばってひねり出したな」などと師匠の気持ちがじんわり伝わってきます。20年ぐらいたった後に読み返すと、「こんなこともあったな」と一之輔師匠の息づかいとともに時代がよみがえりそうな1冊です。

こちらもおすすめ!



講談放浪記
神田伯山/著 講談社 779.1/加

講談は史実やそれに基づいた物語を読む伝統芸能。なので、講談で読まれる話の舞台が現存しています。伯山先生が実際に物語の舞台に足を運び、想いを馳せたり、馳せなかったりする1冊です。これを読んで講談を聞くと、臨場感が一気に増します。歴史好きにもおすすめです。個人的には伯山先生のお師匠さんの、松鯉先生との対談もおもしろくておすすめです。

講談えほん 那須与一 扇の的

神田伯山/監修 石崎洋司/文 宇野亞喜良/絵
講談社 E/7/



画家の宇野亞喜良さんがイラストを手掛ける、美しい絵本。那須与一が水玉のズボン(?)を履いていたり、源義経がポピーのような花を1輪持っていたりと、独特の世界観にウットリすることまちがいなし。

「扇の的」は教科書で読んだことがある方も多いと思いますが、講談を聞くと、ドキドキワクワク、テンション爆上がりします。「講談聞いてみようかな」と思ったら、初めての講談にも扇の的、おすすめです。

交流ラウンジとは

クリエイティブハブの奥にある、お菓子と飲み物の自動販売機がある場所になります。
午前9時から閉館時間まで、どなたでもくつろぐことのできるスペースです。



ご利用について

本や雑誌・新聞を読む、会話を楽しむ、軽食をとるといった過ごし方が可能です。

こちらは、予約による貸し切りを行っていないスペースとなります。
施設の利用に関して、何かご不明点がございましたら、1階総合窓口にお問い合わせください。

飲み物の自動販売機の横に、飲み物用のゴミ箱があります。飲み残しや自動販売機の紙コップはこちらのゴミ箱に捨ててください。

お菓子やご自身でお持ちになった食べ物のゴミはお持ち帰りいただくようお願いしております。



- 1: 交流ラウンジで過ごす様子
- 2: お菓子と飲み物の自動販売機
- 3: 飲み残しと紙コップを捨てる用のゴミ箱

今回のミッション ▶▶ さくらす館内を知り尽くせ！ (総合案内前通路編)

館長の部屋

私は夏生まれで子供の頃は夏が大好きでした。虫が好きなので夏休みは毎日昆虫採集に明け暮れていました。昆虫は今でも好きです。ところが世の中は激しい気候変動により私が子供の頃の夏とは変わってきています。暑さだけではありません。昆虫の世界でも変化が起きています。子供の頃は関東にはいなかった南方系の蝶が普通に見られるようになったり、西日本に多いクマゼミが関東でも鳴いていたりします。さらに変わったのは外来種です。とにかく種類も数も増えました。外来種は繁殖力が強く、あっという間に在来種の居場所を乗っ取ります。さらに作物や樹木を食い荒らし、社会問題となっています。暑いし、見かける虫は変なのばかりだし、大人になって夏がすっかり嫌いになりました。



ユーモア溢れる館長によるコーナー
広い知識と視野で、いつも見ることで
できない世界をお届けします！

どっちが嫌い？ 夏と冬

だからといって冬が好きなのではありません。だって寒いから。そして中間であるはずの春と秋はもはやほとんど無いといってもいいでしょう。日本の気候は夏と冬だけです。我々も困りますが自然界の生き物たちも大変です。ああ、今年も嫌いな夏がやってきた。せっかくだから夏を楽しむイベントをやりたいです。スイカ割りとか花火大会とか。花火は無理か…。はやく夏が終わらないかな。でもその次はやっぱり嫌いな冬がやってくる。



みんなの大ピンチ！！Vol.7

トイレにいきたいのに トイレがない！

これは誰もが経験あるはず！！
やっとこトイレにたどり着いたと思ったら、
激混みだった…(´ω；`)

その場にトイレを呼び出す魔法が使えたら
いいのにね。

大ピンチ度：A (さくらす調べ)



大ピンチ度 (さくらす調べ)
A: とっても大ピンチ！
B: まあまあ大ピンチ！
C: ちょっとピンチ！
D: ピンチかも！

ごじまん 5時MEN's

スタッフの退勤後の楽しみ、自慢のペットやお気に入りの品を紹介するコーナー。今号の担当はみかんさんです。



休みの日は、御城印を集めにお出かけ。素直にかっこいい物ばかりですし、その場所の歴史をぎゅっと詰めたデザインでロマンを感じます。季節によって変わったり、記念日だけの限定デザインが出たりすることも。何より、自然豊かなところに行くと、気分もリフレッシュできていいですね。

御城印 に関するおすすめの本

改訂版 東日本「御城印」徹底ガイド
見どころ・楽しみ方がわかる

小和田哲男/監修 メイツ出版 291.0/税込



さくらすの木で紹介した本は
めぶきの棚で展示しています



桜川市生涯学習センター さくらす
(桜川市生涯学習センター・桜川市立図書館)

住所: 〒309-1214 桜川市東桜川1丁目21-1
電話: 生涯学習センター 0296-71-7702
図書館 0296-71-7707